



IMJ 日本統合医療学会 会報 ニュース



編集・発行 一般社団法人日本統合医療学会広報委員会 委員長 川嶋みどり URL: <http://imj.or.jp/>
〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル 4階 一般財団法人口腔保健協会内
一般社団法人日本統合医療学会事務局 E-mail: imj@imj.or.jp TEL: 03-3947-8891

巻頭言



第28回日本統合医療学会学術大会(IMJ2024in栃木) ～地域共生社会における統合医療の役割～

鶴岡 浩樹

第28回日本統合医療学会学術大会長
日本社会事業大学大学院/つるかめ診療所

会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

コロナ禍明けで4年ぶりに対面での学術大会となった静岡大会の興奮が冷めあらず、第28回日本統合医療学会学術大会の開催まで7か月となりました。本稿では第28回大会の概要について、進捗状況もまじえてご案内させていただきます。

会期は2024年12月14日(土)～15日(日)で、ライトキューブ宇都宮にて開催いたします。テーマは『地域共生社会における統合医療の役割』です。栃木県での開催は初めてということで、栃木県支部長である鍋木孝昭先生を中心に、栃木県支部の力を結集して準備を進めています。

さて、わが国は人類史上類を見ない超高齢多死社会を迎えようとしています。そのはじまりが、団塊の世代が75歳を超える2025年と言われています。75歳を超えると、命にかかわる疾病や要介護状態となるリスクが急速に高まるからです。国は2025年に向けて、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体化して提供する地域包括ケアシステムの確立を目指してきました。そして、2025年にさしかかる今、地域包括ケアシステムから地域共生社会への展開が求められています。地域共生社会とは、地域の住民や多様な主体が分野や属性の壁を越えてつながり、互いに支え合う社会です。人口減少、少子化、労働力の劣化、単身世帯の増加、地域格差、ポストコロナなど、現場の課題は多様化かつ複雑化しており、地

域共生社会を実現することでこれらの課題に柔軟に対応しようとするねらいがあります。そこで栃木大会では、地域共生社会において統合医療がどのような役割を果たすことができるのか考える大会にしたいと思います。

本学会が定めた統合医療には、医療モデルと社会モデルがあります。医療モデルは、主に病院や診療所で、患者の治療を中心とした疾病の治療を目指した狭義の統合医療です。一方、社会モデルは、生活の場に焦点を当てており、地域住民を中心とした疾病予防や健康増進を目指す広義の統合医療を指します。これまでの学術大会は、医療モデルにかかわるテーマが多かったため、社会モデルに光を当てたという意味では、本大会は新たな挑戦と言えます。

講演では、地域をベースに統合医療を実践されている山本竜隆先生、温泉や入浴の第一人者で栃木ゆかりの早坂信哉先生、地域共生社会のモデルと言われている勝部麗子先生、在宅医療連合学会の会長を務める石垣泰則先生、栃木県支部の前支部長でおられた岡孝和先生、ヨーガの木村慧心先生をはじめ、ご高名な先生方をお願いしています。

シンポジウムでは、本学会認定「社会モデル」施設の取組み、地域共生社会に必須とされる多職種多機関連携、緩和ケア、ファシアなどを定例のテーマに加えしました。

ワークショップでは、身体均整法、プライマルボディワーク、古武術と介護、鍼、アーユルベータな

どの取組みを体験していただきます。

市民公開講座においては、社会学者の上野千鶴子先生、武術研究家の甲野善紀先生をお招きします。また各種共催セミナーを企画しております。

会期翌日となる12月16日には、エクスカッションツアーとして、「社会モデル」認定施設である那須まちづくり広場への訪問を企画しています。こちらは鍋木孝昭栃木県支部長が運営する施設群で、廃校となった小学校を0歳から100歳までのコミュニティに再生し、統合医療に関わる様々な取組みをしています。

以上が現時点で紹介できる栃木大会の内容です。

会場となるライトキューブ宇都宮はJR宇都宮駅直結で、改札口から徒歩2分というアクセスです。

宇都宮市はジャズとカクテルと餃子の町としても知られており、郷土料理の他、夜も楽しめます。栃木県は夏に雷が多く、天の恵みとして雨を降らせ豊作をもたらすことから雷様（らいさま）と崇められ、宇都宮市も雷都（らいと）と呼ばれています。今日の宇都宮を彩る路面電車（ライトライン）は稲光の黄色がシンボルカラーとして選ばれました。また宇都宮では黄色の鮎を食べると疫病に罹らないという言い伝えがあり、無病息災の祈りを込めた「黄ぶな」という郷土玩具が有名です。これらの逸話は統合医療と関連が深いと思われ、栃木大会のポスターは黄色を基調としました。一歩足をのばせば、日光、那須、足利、益子などの観光地も楽しめます。皆さまを栃木でお待ちしております。

学術集会レポート

第27回日本統合医療学会学術大会 (静岡大会) 開催を振り返って

山田 静雄

第27回日本統合医療学会学術大会長
静岡県立大学特任教授
大学院薬学研究院薬食研究推進センター長



この度、第27回日本統合医療学会学術大会を令和5年12月16日（土）～17日（日）に静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）にて開催いたしました。静岡大会は、世界に先駆けて超高齢社会に突入したわが国の将来を見据えて、「健康長寿と統合医療—こころ・からだ・たべもの・くすり」というテーマのもとで、学術のおよび実践的な研究成果を発表・議論し、統合医療の更なる発展を目的として開催しました。

具体的には、特別講演（6題）、教育講演（4題）、シンポジウム（10題）、ワークショップ（5題）、教育セミナー（8題）、一般演題発表（70題）、企業機器展示（23社）など魅力あるプログラムを企画し、「人生100年時代を健康で生きぬく」ため、多様な切り口から統合医療の視点をふまえた先進的研究成果の発表や画期的な提案などとともに活発な議論が行われました。

市民公開講座では、看護界の大御所

である川嶋みどり先生（日本赤十字看護大学名誉教授）と自由民主党統合医療推進議員連盟会長の橋本聖子参議院議員のお二人にご登壇いただきました。川嶋先生は「ぴんぴんキラリと自分らしく生きましょー九十路の実感を通して」のテーマで、橋本先生は「日本発の統合医療を目指して—キュアからケアへ、そして健康なまちづくり」というテーマで、先生ご自身のこれまでの人生体験から、これからの健康長寿社会実現に向けて統合医療の重要性を強調され、一般市民を含め約450名の参加者に、これからの健康づくりのためのヒントとともに沢山の学びと大きな感動を与えてくださいました。

本大会には医師、歯科医師、看護師、薬剤師、栄養士



をはじめ、鍼灸師、アロマセラピスト、ヨーガ療法士などさまざまな医療従事者が一同に集い議論が交わされ、交流を深めることができました。

また、霊峰富士と駿河湾を仰ぐ絶景の日本平ホテルでの懇親会には約150名が参加し、コロナ禍で途絶えていた親睦を深めることができましたのは主催者として望外の喜びでした。

本学会の静岡県内開催は初めてであり、学術研究者のみならず医療専門職や市民参加型の会として、統合医療への理解を深めるとともに静岡から「健康長寿と統合医療」に関する新たな方向性につき情報発信でき、実りある大会となりました。4年ぶりの対面形式の開催となり、北海道から沖縄まで全国から500名を超えるご参加の皆様「これからの医療としての統合医療」について理解していた



だいたと確信しております。

最後に、静岡大会開催にあたり、ご講演およびご参加の皆様はもとより、多大なご支援・ご協力を賜りました団体や協賛企業等の皆様に衷心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

●株式会社フォーラムエイト

〒108-6021 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟21F
URL <https://www.forum8.co.jp>

弊社、株式会社フォーラムエイトは、1987年に創業した国産ソフトウェアメーカーです。建設土木の設計計算を支援するパッケージソフト、UC-1シリーズを皮切りに2000年には3DVRシミュレーションソフトウェア「UC-win/Road」をリリース。近年では、メタバースを構築可能な「F8VPS」その他、Web3システム・NFTサービスおよびWeb4.0への展開、AI技術の活用をはじめとして、DXを支援する製品・サービスの開発を積極的に推進しています。

自動運転研究開発などでも豊富な実績があり、ドライビングシミュレータをはじめとする各種システムを国内外で広く展開し、この技術は医療リハビリ向けシミュレータ

としても活用されています。

「第27回日本統合医療学会学術大会」では特別協賛として出展の機会をいただき、高次脳機能障害患者向け運転トレーニングと運転の危険度・安全性の客観的評価を行うリハビリ用ドライビングシミュレータ、脳機能・呼吸計測とVRソフトを連携したリラクゼーションシステム、医療向けメタバースを中心に展示を行い、遠隔医療、バーチャル研修・講演会、コミュニケーションプラットフォームによる社会参加やトレーニングといった活用事例をご紹介しました。メタバース「F8VPS」については、住まいの環境整備により健康寿命を伸ばす「健康住宅」の観点から、住宅リフォームやスマートホーム



左：リハビリ用ドライビングシミュレータ体験／右：F8VPSでのメタバース体験

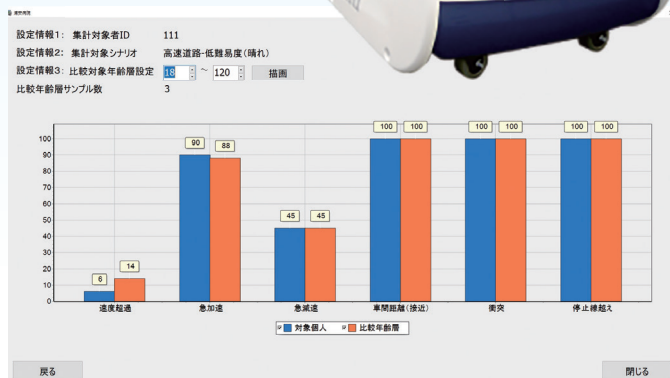
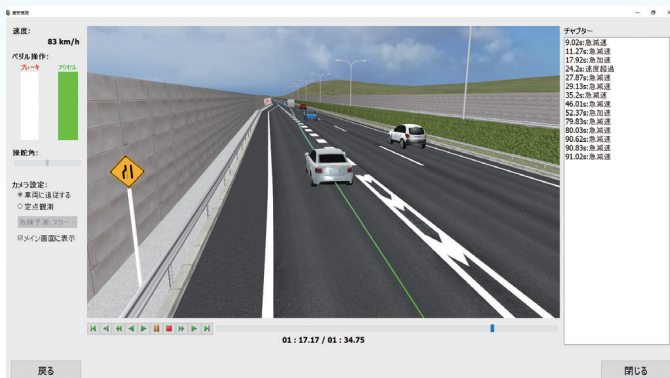
的提案での活用、また、患者との遠隔コミュニケーション、バーチャル学会など、医療分野での多様な活用に関するご意見もいただきました。

また、シンポジウム「慢性疾患と統合医療～ポリファーマシーへの対応～」にて座長を務められご講演された板村論子先生には、当社ヘルス・メンタルアドバイザーとして企業の健康経営推進にご協力いただくなど、ご活躍いただいています。

今回、医師をはじめとして医療業界の様々な関係者の方々と意見交換させていただき貴重な機会となりました。今後もデジタルツイン、メタバースを中心としたソフトウェア開発、ソリューションの提供により、医療業界のDX化に貢献してまいります。



運転判断反応評価シミュレータ（医療法人知邑舎 岩倉病院 リハビリテーションセンター）
運転シミュレーションをリハビリに活用し意識障害を持つ患者の社会復帰を支援



安全運転走行評価診断シミュレータ（医療法人社団城東桐和会 タムス浦安病院）
高次脳機能障害患者を対象にした運転トレーニングと安全性の客観的評価が可能

事務局だより

【2024年2月～2024年4月までの会議等】

- 2024年3月25日～29日12:00 次期理事選挙(オンライン投票)
- 2024年4月21日 第4回業務執行理事会(オンライン)
- 2024年4月21日 第2回理事会(オンライン)

【2024年2月～2024年4月までの学術大会・研修・セミナー等】

- 2024年3月9日 認定研修Part1(オンライン)
- 2024年3月10日 認定研修Part2(オンライン)
- 2024年4月20日 認定研修Part3(オンライン)
- 2024年4月21日 認定研修Part4(オンライン)

【今後の予定】

- 2024年6月15日 認定研修Part5(オンライン)
 - 2024年6月16日 認定研修協働師Part5(オンライン)
 - 2024年6月16日 認定研修筆記試験(東京予定)
 - 2024年8月 第5回業務執行理事会(開催日未定)
 - 2024年9月 第3回理事会(開催日未定)
 - 2024年12月14日～15日 第28回日本統合医療学会学術大会・総会(栃木・宇都宮)
- ※第28回大会について、右記QRコードをご利用ください。



編集後記 ●真っ赤な茶葉の実が小さなブランコのように揺れています。前倒しの季節のもとでの気温の変化に戸惑いますが、学会の日程は着々と前に進んでいます。第28回学術大会も魅力的なプログラムが企画されていて、求められる地域共生社会での統合医療への展開に関して各領域からの活発な論議が期待されます。発表される方も参加の方も奮ってご準備をよろしく。(川嶋みどり)